

2016 年度第 65 回 日本学連総会 議事録

開催日時：2016 年(平成 28 年) 11 月 19 日(土) 16:30~18:00

開催会場：栃木県下野市 天平の丘公園秋山亭

議事録作成者：坂野 翔哉 (東京理科大学)

議題

1. 議長選出	3
2. 今年度中間報告、昨年度決算報告	3
3. 日本学連事務局について	4
4. 規約改正について	5
5. 関東ロングセレのトラブルについて	6
6. 全日本大会と地区学連ロングセレクションの融合について	7
7. メーリスについて	9
8. インカレリレー特例措置について	9
9. 各部局活動報告	10
10. 地区学連活動報告	11
11. 次回総会について	12

出席者(敬称略)

氏名	役職	学校名
河合 利幸	会長	大阪大学卒
山川 克則	副会長	東京大学卒
筆谷敏正	理事長	早稲田大学卒
木村 佳司	理事	山口大学卒
大久保 宗典	前年度会計	東京大学卒
小泉 知貴	幹事長	慶應義塾大学
石山 良太	副幹事長	名古屋大学
成澤 春菜	会計	フェリス女学院大学
築地 孝和	事業部長	神戸大学
坂野 翔哉	広報部長	東京理科大学
吉澤 佳奈	事務局長	日本女子大学
細 正隆	普及部長	東北大学
堀江 優貴	渉外部長	東北大学
田口 茂樹	会計監査	岩手大学
田中 基成	会計監査	筑波大学
渥美 駿	北東学連幹事長	福島大学
瀬川 出	関東学連幹事長	東京大学
高田 和樹	北信越学連幹事長	新潟大学
横田 智也	東海学連幹事長	名古屋大学
中村 哲	関西学連幹事長	京都大学
下江 裕貴	中四国九州学連幹事長	広島大学

出席校(33)

北海道、岩手県立、岩手、宮城学院女子、東北、福島、相模女子、東京工業、横浜国立、実践女子、東京農工、十文字学園女子、東京理科、津田塾、筑波、千葉、横浜市立、フェリス女学院、一橋、早稲田、東京、慶應義塾、金沢、金沢工業、新潟、椛山女学園、名古屋、京都、大阪、京都女子、奈良女子、神戸、広島

委任状(4)

関東学院、茨城、日本女子、静岡

1. 議長選出

発言内容(敬称略)	
小泉	2016 年度第 65 回 日本学連総会を始める。出席大学数は規定を満たす。議長選出を行うが立候補はあるか。
鳥越	京都大学の鳥越です。
小泉	京都大学の鳥越氏が議長を務めることを承認する方は挙手をお願いしたい。(全会一致) では議長を承認する。

2. 今年度中間報告、昨年度決算報告

概要	
今年度中間報告【資料 1】を行った。昨年度決算報告【資料 2】を承認した。	
発言内容(敬称略)	
成澤	今年度中間報告については配布した資料の通りです。10/13 日時点のもの。 注 1 についてユニバー補助は今年度 30 万円の支出をしている。 印刷費 25 万円はまだ発行していないものへの積立である。質問はないか。
小泉	質問がなければ昨年度決算報告へ移る。
大久保	続いて昨年度決算報告を行う。資料の補足について説明する。注 1 について、学連加盟費個人単価 2000 円にも関わらず端数があり一致しない。遅れ入金の 400 円もあるが、それでも赤字になってしまった。十分丁寧にやっていたが不一致が生じてしまった。 注 2 について、例年の ICR,ICS のときは運営資金を貸付していないが、昨年度に関しては実行委員会から要請があり、貸付をした。既に返金されている。 注 3 について、山川さんより事務局家賃の返金がある。経緯は 2015 年度 3 回議事録・事務局関連費用について に記載(日本学連活動報告書 Vol.17 p.497)。 注 4 について、2016 年度春インカレのための準備資金は別項目で計上したため削除した。 注 5 注 6 については成澤の説明の通り 注 7 について、事務局家賃 $5 \times 12 + 5 = 65$ 万円、今年からは移転したため家賃は変更になる。 注 8 について、旧事務局の修繕費である。風呂を壊してしまったため。 注 9 について、保険金がどのようなものか JOA に聞いたところ賠償保険と回答があった。オリエンテーリングの際に地元の何かを壊したときに利用できる。 注 10 について、決算は今年の 3 月で報告できるとよかったがこの総会まで報告

	が伸びてしまった。 質問はないか。
小泉	質問がないのであれば、2015年度決算報告の承認を取りたい。
鳥越	2015年度決算報告の承認をされる加盟校は挙手を願う。(31人/33人)
小泉	それでは2015年度決算報告の承認をする。

3. 日本学連事務局について

概要	
事務局の東京都文京区から栃木県塩谷町への移転にかかわる日本学連規約を改正した。事務局宛の郵便物に関しては来年度まで事務局長在学の日本女子大学宛で受け付ける。	
発言内容(敬称略)	
小泉	規約では日本学連事務局所在地が文京区のままだが実質の移転は終了し、会長の承認もされている。銀行口座の登録住所の移行も終わっている。個人情報の問合せ先の規約についても変更する。 これによって規約記載の住所についてすべて改正を行う。
鳥越	事務局移転に伴う規約改正の承認をされる加盟校は挙手を願う。(31人/33人)
小泉	それでは事務局移転を承認する。 なお、事務局への郵送物に関しては、山川さんの通院によって受け取れないことがあり、利用は厳しいと判断した。事務局で私書箱を検討したが郵送物がある程度多くないと利用できないと分かった。
吉澤	郵送物がある場合は日本学連事務局長の私の大学まで郵送をお願いしたい。この住所は来年度まで利用できる。すでに日本学連ホームページにも記載されている。 〒112-8681 文京区目白日本女子大学学生支援課 オリエンテーリングクラブ吉澤宛

4. 規約改正について

<p>概要</p> <p>日本学連規約第6条：地区学連規約の変更は日本学連総会の承認を必要とする件について、連盟規約改正のみ日本学連総会での承認を必要とする旨を書き加える改正を行った。</p> <p>各地区学連規約によって異なる加盟校基準の統一について模索し、加盟校の意義について議論を行った。普及や発展といった学連の意義も踏まえた上で、今後も意見を募集する。</p>	
<p>発言内容(敬称略)</p>	
小泉	<p>幹事会ではいくつかの規約の見直しを行っていた。日本学連規約第6条について、解釈の仕方によっては連盟規約以外のセレ規約等まで日本学連総会の承認が必要と捉えられる。</p> <p>今後は「各地区学連が任意に作った規約について、日本学連総会での承認は必要ない」との文言を加える。しかし、念のため従来のように全ての地区学連規約やセレ規約の改正については日本学連幹事長に連絡を行うものとした。</p>
鳥越	<p>日本学連規約第6条改正の承認をされる加盟校は挙手を願う。(32人/33人)</p>
小泉	<p>では日本学連規約第6条改正を承認する。</p>
横田	<p>この規約改正の施行はいつからだろうか。</p>
小泉	<p>今日からである。</p>
小泉	<p>続いて加盟校基準の統一について見直しを行う。</p> <p>日本学連加盟校は総会での発言権、総会での1票を持つ。にも関わらずこの地区の基準も一致しない。1票の格差にもなっているため問題視していて、幹事会で議論していた。</p> <p>幹事会での統一案は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準加盟校として1年が経過している。 ・人数基準を満たし、地区学連の総会によって承認を行う。 ・年度を越えて、人数基準が満たさなくなったら自動で降格。 <p>しかし基準人数の問題が残った。特に関東地区での10人未満5人以上の大学で意見を求める。</p>
石井	<p>横浜国立大では、5名にするべきという意見となった。人数について詳細な理由はない。</p>
吉澤	<p>今年度加盟校で5人以上10人未満の大学は、電通・関東学院・十文字・東京理科大学・津田塾・フェリスであった。</p>
小泉	<p>これらの大学で意見はないか</p>
澤村	<p>東京理科大学では、現在は中高からの競技経験者がいるため相談して意見が出せる。そうでなければ意見は言えないと思う。10人に賛成。</p>

下江	広島大学では10人を超えたが多くは1年生。5人では活動が難しい。
村山	十文字大学では登録人数は10越えてるが実際の参加人数は少ない。が、上級生は意見を言えているので5でいい。
荻原	津田塾大学では、5人だと議論が難しいと考えている。
村田	フェリス女学院大学では、少人数校でも学連の動きが把握できるのは有意義だと考えている。
小泉	10人以上の加盟校からの意見もあれば発言してほしい。
小原	東京工業大学では、10人未満だと安定したクラブ維持ができないと考えている。
横江	名古屋大学では、10人を基準として1票の格差を小さくしたいと考えている。
坂野	5人や10人と数字で意見が別れているが、その人数には根拠がなく、理由づけしたところで議論は並行する。
小泉	いまここで決めるつもりはなく、加盟校から直接意見を聞いてよかった。引き続き議論したいと考えている。他に意見はないか。
村山	十文字大学です。関東学連の加盟校人数が減るが、運営や会議に影響があるのではないか。
佐藤	東京大学です。東大OLKとして意見を出していることもあり、準加盟校からの意見も集めている。1人からでも意見を拾える状況が大切だと思う
木下	金沢工業大学です。準加盟校でも総会に参加して意見は言えるため、ここで言う加盟校の基準人数は人数とするべき。
小泉	意見は受け止めて参考にした。また、降格基準について、現行の規約で多いものが年度末で降格だったため採用を考えていたが、理事に相談したところ、会社等では数年の猶予期間がある。降格基準についての意見も集める。

5. 関東ロングセレのトラブルについて

概要	
<p>渉外問題が発生した際に、日本学連やJOAとも連携できるように報告体制を設定した。問題への対応方法を共有し、予防するための方法を整備し考えていくことを確認した。</p>	
発言内容(敬称略)	
小泉	<p>今年度7月に行われた関東学連のロングセレクションにて、渉外問題が発生した。原因は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土足立ち入り禁止のエリアが靴の跡で汚れていた ・飲食禁止のエリアで飲食が行われていた

[トップへ戻る](#)

	<p>・ごみが残されていた</p> <p>であった。これの対応方法に問題があり、会場が使用不可能になってしまった。これらは、今後関東学連のみならず、全国で起こりうる問題であると幹事会は考えており、このようなことが起こった時にどのように対応するべきなのか、幹事会での決定事項を確認したい。</p> <p>問題があったときには身内で解決しようとせず、日本学連事務局へ報告してほしい。必要であれば幹事長や理事まで報告する制度としたい。また、日本学連の後援する大会については報告書の提出義務がある。</p> <p>また、200名を超えるような規模の大会ではコントローラーを必ず設定し、渉外問題にも対応できるような熟練者をお願いしてほしい。さらに、練習会程度でも問題が起こった際にも参照できるマニュアル整備を JOA へお願いしている。なにか質問はあるか。</p>
結城	千葉大学です。所有トレイン「釈迦谷」で猟友会との連携が取れていなかったことと、区長さんの連絡先を他団体と共有してしまったことが問題になった。状況を事務局へ報告したほうが良いか。
小泉	そうしてください。
小原	東工大です。学連所有のトレインではない、他団体所有のトレインでも渉外問題が発生した際には学連に報告すべきか。
小泉	トレインの所有団体にももちろん報告は必要だが、日本学連としても共有しておきたいので報告をお願いします。

6. 全日本大会と地区学連ロングセレクションの融合について

<p>概要</p> <p>来年度全日本大会のプロデューサーである山川氏の提言を受けて、幹事会では全日本大会と地区学連ロングセレクションの融合についての議論を行っている。</p> <p>日本学連の方針は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催のお願いは受容するが選考会としての採用は地区学連の基準による ・公認大会や 20E の価値をこちらから JOA へ提案する ・初年度は全日本選手権クラス出場権所持者のインカレロング選考会免除を拒否するということである。山川氏や幹事との質疑応答を行い、日本学連に対しては日本のオリエンテーリングを変えていく立場としての理解と協力を求められた。 	
<p>発言内容(敬称略)</p>	
小泉	山川氏の提言を受けて、幹事会では全日本大会と地区学連ロングセレクションの融合についての議論を行っている。この件についてのこれまでの経緯と、決定し

	たことの発表、加えて幹事会に対しての直接の質疑応答を行う。
小泉	<p>経緯としては、全日本大会開催のコストが大きいにも関わらず参加者は少なく、権威も失墜している。開催者も決まらず、JOAの選んだプロデューサーである山川氏が直接全日本大会を開催することとなった。全日本大会へ学生を呼び込むために日本学連を通して各地区学連へセレクション誘致がされている。</p> <p>セレクションと決定した場合には、全日本大会を権威ある大会にするために全日本 21E 出場権を持っている人は共催のセレクションを免除してもらうよう山川氏よりお願いがされた。</p> <p>幹事会で話し合った結果、各地区学連はセレクションの 2 本制を推奨し、各地区学連はそのうち 1 回を、全日本大会を採用してほしいということであった。</p> <p>それに伴い、全日本 21E 出場権所有者はセレクション免除としたいが、2018 年度以降で行うことにしたい。この免除は従来のセレクションで選考される男子 60 人、女子 30 人とは違う枠となる。そのため枠の数の制御ができず、実際に何人がインカレでエリートクラスに参加できるか問題が発生する可能性はあるものの、いまのところ全員免除とする。これで何か問題が発生した場合には再度議論を行えるようにする。</p> <p>全日本大会は 6 月第 3 週であり、就活と被る問題があるため、各地区学連はセレクションの 2 本制を推奨する。</p>
山川	<p>そもそも全日本大会とセレクションをくっつけるのは参加者数と大会の持続可能性の都合から。全日本大会に学生が多く参加し、日本一を決める大会ならそれでいい。若い人が将来のオリエンテーリング界の持続可能性を考えてほしい。</p>
小泉	<p>かなりの改革に思うが日本のオリエンテーリングの未来のために理解を頂きたい。学生都合で意見をどんどん出してもらって構わない。</p>
佐藤	<p>東京大学です。この改革がわかりにくいので、日本学連で一問一答形式のように説明して欲しい。意見を出しにくい。日程、気候について学生からの要求が多いが対応してもらえるのだろうか。</p>
山川	<p>学生都合で全日本大会の日程考えていい。今後も 6 月である必要は全くない。学生手動で改革してもらえたらと考えている。</p>
石井	<p>横浜国立大学です。全日本 20E を 18E とするのは反対。大学生と中高生の戦う場は設けてほしい。セレクションと同じコースにするなどで対応してほしい。また、最高峰の大会とするべく GPS トラッキング等演出でも盛り上がる大会になって欲しい。</p>

小原	<p>東工大です。中高経験者からの意見では、インターハイやジュニアチャンピオン大会があるとは言え大学生と中高生の戦う場として 20E の価値があるという意見があった。全日本 21E 権をインカレとするのは学生主体の大会として不適格だと考えている。全日本大会への要望については演出としてのカメラ中継などインカレレベルの観戦ができると良い。</p> <p>また、全日本大会に学生を参加させたいという目標に対しては、開催地が人口密集地付近で大会がしっかりコントロールされるのならセクションと融合するまでもなく人集まると考えられ、今回の融合自体に疑問がある。</p>
小泉	<p>一問一答形式の報告が作れるといいが、日本学連としては集まれる場が総会しか無いので質問への対応はメールになると思う。幹事または日本学連のメールへ連絡して欲しい。</p>

7. メーリスについて

<p>概要</p> <p>日本学連涉外との連絡に使用されているメーリングリストは orienteering.com サーバーを使用しているが、来年度より無料サービスである free ML への移行を報告した。</p>	
<p>発言内容(敬称略)</p>	
小泉	<p>現在加盟校メーリングリストで @orienteering.com を用いているが、添付ファイルの上限があるなど不都合があります。また、多くのオリエンテーリング団体が同じサーバーを使っているということで、サーバーが機能しなくなってしまうときの影響は非常に大きいです。その為移行を検討しています。</p>
坂野	<p>移行は来年度涉外の皆さんを登録する際に行うことになると思います。ただ、これまでの ML には過去の涉外や幹事などかなり多くの参加者がいて、登録件数で 500 人程度ある。登録者の管理も曖昧になっていて扱いづらいためぜひ移行したい。基本的に移行後も過去の方々や希望者など登録していく。</p>

8. インカレリレー特例措置について

<p>概要</p> <p>インカレリレーへ混成チームを出場できる特例制度について、どのような場合において適用されるべきか、制度化を検討した。</p>	
<p>発言内容(敬称略)</p>	
小泉	<p>インカレリレーに 3 名未満の大学も人数を集めて出場できるという特例措置について、インカレ実行委員会の方から「特例措置ではなく規約に明記してほしい」</p>

[トップへ戻る](#)

	との問い合わせがありました。この特例措置について、先日アンケートを行いました。 特例措置によってインカレ団体戦としての意義や権威への意見もあるため、今後の特例措置の在り方についてアンケート結果を踏まえながら加盟校の皆様の意見を聞きたい。
小泉	アンケート結果については資料を参考にしてほしい。賛成多数だったため特例措置を今年度も行うとしたい。 しかし、実行委員会から特例措置の意味を考えて欲しい、3年目なので特例ではなくなりつつあるため規約化も検討してほしいと連絡があった。特例措置の存在意義から考えたい。
佐藤	東京大学です。2人以下の大学が利用する場合は異論ないが3人以上が登録している大学は出られないというのは事情の事例ごとに判断して欲しい。
石井	横浜国立大学です。2人以下の大学では問題ないのではないかと思うが3人以上所属する大学の混成チーム出場は規約作るべき。
村山	十文字大学です。3人以上の大学へは適用するべきではない。
小泉	これらの意見を取り入れて規約化も検討していきたい。

9. 各部局活動報告

築地	事業部では、6月4日に群馬県渋川市で行われた第1回幹事会の会場と宿泊の予約、9月10日に長野県富士見町で行われた第2回幹事会の会場と宿泊の予約、本日の会議場をインカレ実行委員会へ依頼して確保した。2017年3月17日に滋賀県で行われるインカレミドルリレー開会式担当校を大阪大学・奈良女子大学・神戸大学の3校にお願いして決定した。
坂野	広報部では、第1回幹事会議事録、第2回幹事会議事録を公開しました。臨時幹事会議事録を作成中です。いぶき第1号を発行しました。
吉澤	事務局では加盟登録を完了した。来年度には新しいシステムを導入し、各校渉外担当者自身が登録や変更できるように変わるようにする。
細	普及部ではインカレ観戦ガイドを作成した。春インカレでも寄稿の協力をお願いします。また、日本学連活動報告書 Vol.17 を作成したが、これは1冊9000円近いものであり、各大学で持ち帰って保存し参照してほしい。
成澤	会計中間報告資料を作成した。加盟金の確認作業を行っている。活動報告書などの振込も行った。
堀江	山川氏と矢板市、日光市、塩谷町のテレインに関して挨拶と回覧を送付した。

10. 地区学連活動報告

渥美	北東学連は6月5日に東大大会を利用しロングセレと総会を行った。 8月13日に北東インカレでスプリントセレと総会を行った。 翌14日にロングセレを行った。 12月18日に関東と合同でミドルセレと総会を行う予定。 北東学連ロングセレ規約を策定した。
高田	北信越学連は6月5日に東大大会を利用しロングセレ、6月12日に東海スプリントセレを利用してセレ、7月3日に関東と合同で第2回ロングセレを行った。 7月16日に金沢と新潟の交流会、9月17日にCC7で合同合宿を行った。 12月4日の関西学連ミドルセレで合同セレを行う。
瀬川	関東学連は4月・7月・10月に3回総会を行った。5月12日に新歓ペアO、7月3日にロングセレ兼関東インカレ、8月14日にスプリントセレ、9月13日に新人戦を開催した。関東インカレは男子で2レーン制を採用した。 12月18日にミドルセレ、2月5日に関東インカレ団体戦を山リハリレーで行う。 男子の2レーン制についてと、推薦規約についてセレクション規約改正を行った。
横田	東海学連は5月21日にペアO、6月12日にスプリントセレ、6月19日に東海インカレ兼ロングセレ、8月20日に夏合宿と総会を行った。 12月11日にミドルセレ、12月17日に冬合宿と総会を行う。
中村	関西学連は4月24日に新歓と総会、5月15日に新歓、5月22日に定例戦、6月19日にロングセレと総会、7月3日にスプリントセレ、10月2日に新人戦となる定例戦と総会を行った。 12月4日にミドルセレと総会を行う。 連盟規約について改正を行う。役職を追記、会計の附則を追記した。その他セレクション実施規約も改正した。 連盟規約の改正については総会において承認を取りたい。31/33
鳥越	質問等が無いようであれば承認を行いたい。承認をされる加盟校は挙手を願う。 (32人/33人)
中村	関西学連連盟規約の改正が承認ということで、ご協力ありがとうございます。
下江	中九四学連は6月11日に新歓合宿、6月19日に関西学連ロングセレを利用したセレクション、10月16日に練習会を開催したが、今後練習会を定例戦にしたい。12月4日に関西ミドルセレを利用したセレクション、1月9日に第2回の練習会を行う。

11. 次回総会について

築地	次回総会は例年通り、インカレ後夜祭の翌日、3月20日の午前9時ごろを予定している。
山川	今後も全日本大会について議論を行っていくが、このインカレスプリントロング大会についても、今後もこのように同時開催の形式で開催されるのかについては議論の最中である。今回の大会ではスプリント参加者は学生全体の半分だったが、その参加者数で採算がとれるのか分からない。これまでのようにクオリティの高いスプリントは一般参加者だけで支えられないため、やめるか続けるか、どのように続けるか深い議論が必要である。次回総会までに話し合ってきてほしい。